

まことの道【卯月】うづき 四月

今上陛下

青春を

わが過ごしたる

学び舎に

新入生の声ひびくなり



神話冊子「みんなの神さま」を無料で差し上げます。詳しくは神社庁HPをご覧ください。直接お電話(045-761-6387)下さい。

家庭祭祀さいしのおすすめ

日本の総氏神様そうじがみさまである

「お伊勢さま」と

「氏神様」のお神札を

おまつりしましょう。

《おまつりの仕方の一例》

タンスや書棚の上に宮型(おやしる)を置いておまつりする。



壁掛けもできる小さな宮型。



タンスや書棚の上に白い紙を敷いておまつりする。



モダンなデザインの宮型。



神奈川県神社庁ウェブサイト

節句について

雛祭は、上巳の祓と、古来よりある雛遊びとが一緒になったもので、雛に災いなすものを託して、流し祓い去ったことから始まったといわれます。

現在のように三月三日に行われるようになったのは、江戸時代の頃からで、女兒が健康で丈夫に育つようにと、祈つて行われる年中行事です。

また、五月五日はこどもの日ですが、古くはこの日に菖蒲ししゅうや粽ちまきで、邪気を祓い厄を除く日と云う信仰に基づいて来たものです。

この日飾られる五月人形も本来は、季節の変わり目に穢れや厄を人形に託して流したもので、それが次第に、幟、兜人形等を飾ることとなり男児の成長を祈念するものとなりました。

神奈川県神社庁

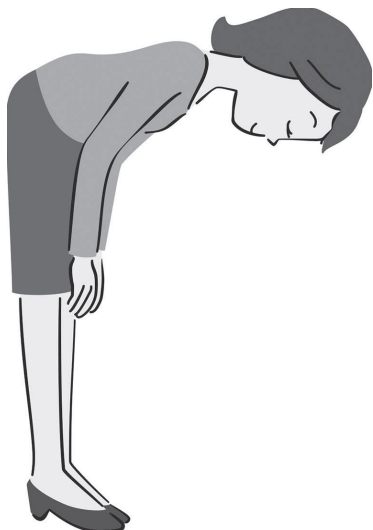
〒235-0019横浜市磯子区磯子台20-1
TEL:045(761)6387 FAX:045(761)0100
E-mail:k-jinjacho@kanagawa-jinja.or.jp



ご自由に一枚ずつお持ち下さい。

〈拝礼の作法〉

二拝二拍手一拝で
お参りしましょう。

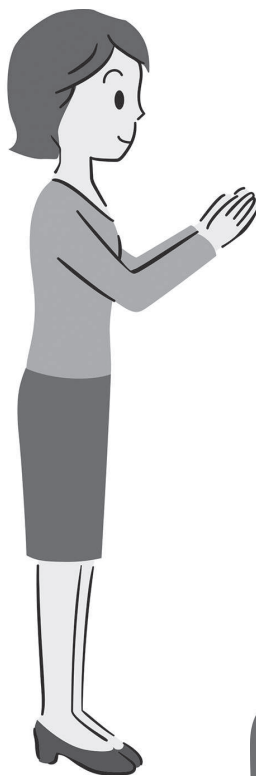


1

まず二回深く
頭を下げます。

2

二拝したあと、
胸の前で両手を合わせ、
右手を少し下にずらして
二回手を打ちます。
二拍手のあと、
両手の指先を揃えて、
祈りをこめます。



3

最後にもう一回深く
頭を下げます。

